

2022年度豊橋技術科学大学大学院修了生の教育成果等に関するアンケート結果

問1. あなたご自身について教えてください。

問1-1. あなたが修了した専攻について、ご記入ください。

1 機械 2 電気・電子情報 3 情報・知能 4 応用化学・生命(環境・生命) 5 建築・都市システム

機械	電気・電子情報	情報・知能	応用化学・生命	建築・都市システム	未完了or非表示
43	35	13	39	39	0
25.44%	20.71%	7.69%	23.08%	23.08%	0.00%

問1-2. 修了年度を西暦で、ご記入ください。(参考:令和元/平成31年度=2019年度)

2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2008	未完了
R05	R04	R03	R02	H31	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H20	
3	16	48	32	21	28	14	5	0	0	0	1	1	0
2.63%	2.63%	28.40%	18.93%	12.43%	16.57%	8.28%	2.96%	0.00%	0.00%	0.00%	0.59%	0.59%	0.00%

問1-3. あなたは本学学部からの入学者(学内進学者)ですか。ご記入ください。

学内進学者である	学内進学者ではない
135	34
79.9%	20.1%

問1-4. 本学学部からの入学者(学内進学者)は、学部入学前の出身校について、ご記入ください。

普通高校	25	14.79%
専門学校(工業等)	3	1.78%
外国の高校等	1	0.59%
高専(本科)	100	59.17%
短大・専門学校等	0	0.00%
高専(専攻科)	5	2.96%
本学以外の国内大学	1	0.59%

問2. 勤務先について教えてください。

問2-1. 勤務先の主たる業種について、ご記入ください。

輸送用機械器具	13	7.69%
その他の製造業	17	10.06%
電子部品・デバイス	11	6.51%
電気・情報通信機械器具	7	4.14%
情報通信業	21	12.43%
一般機械器具	5	2.96%
建設業	22	13.02%
化学工業・石油・石炭	11	6.51%
非鉄金属	5	2.96%
精密機械器具	8	4.73%
医療業・保健衛生	5	2.96%
大学・高専・短大	7	4.14%
電気・ガス・水道	4	2.37%
鉄鋼	3	1.78%
運輸業	6	3.55%
複合サービス業	5	2.96%
法務	1	0.59%
食品・飲料	1	0.59%
繊維工業	0	0.00%
印刷	2	1.18%
金属製品	5	2.96%
小売業	1	0.59%
学術・開発研究機関	2	1.18%
地方公務員	5	2.96%
その他上記以外	2	1.18%

問2-2. 正規雇用者数について、該当する番号をご記入ください。

50人未満	9	5.33%
50人以上100人未満	6	3.55%
100人以上300人未満	16	9.47%
300人以上500人未満	15	8.88%
500人以上1,000人未満	16	9.47%
1,000人以上	107	63.31%
未完了あるいは非表示	0	0.00%

問2-3. 現在の勤務先について、ご記入ください。

現在の勤務先は修了時と変わらない	141	83.43%
これまでに転職したことがある	28	16.57%
未完了あるいは非表示	0	0.00%

問2-4. 修了後何年目で転職されたか、ご記入ください。

1年未満	1	0.59%
1年以上2年未満	7	4.14%
2年以上3年未満	7	4.14%
3年以上	13	7.69%

問2-5. 転職で重視した項目について、ご記入ください。(複数回答可)

1 勤務地 2 年収 3 企業規模 4 仕事内容 5 会社の将来性 6 待遇・福利厚生 7 社風・職場の雰囲気 8 休日休暇 9 教育体制 10 その他()

勤務地	年収	企業規模	仕事内容	将来性	待遇	社風	休暇	教育体制	その他
18	10	2	21	8	8	9	6	0	0

問3. 豊橋技術科学大学は学位授与の方針に掲げる知識と能力を身につけるため、必要な授業科目を設定した教育プログラムを編成しています。

問3-1. 豊橋技術科学大学で受けた教育により、学位授与の方針に掲げる知識と能力がどの程度身についたか、についてご記入ください。

- 1 よく身についたと思う 2 身についたと思う 3 最低限は身についたと思う

問3-2. 実社会で積み重ねてきた経験に則して、学位授与の方針に掲げる知識と能力は実社会においてどの程度役に立っているか、についてご記入ください。

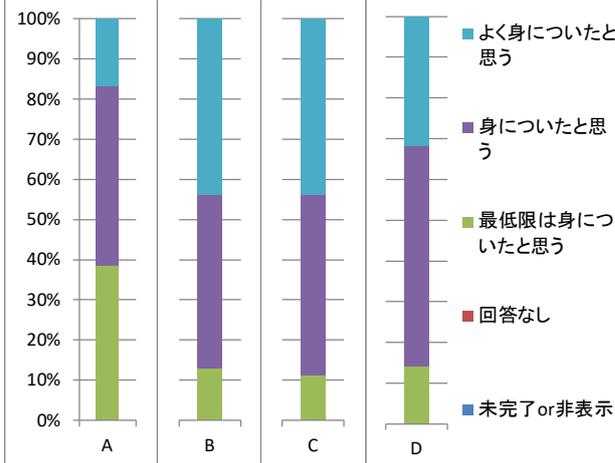
- 1 とても役に立つ 2 役に立つ 3 あまり役にたたない 4 役に立たない

問3-3. 実社会で積み重ねてきた経験に則して大学時代を振り返ったときに、身につけておいて良かった、又は身につけておけば良かったと考える学位授与の方針に掲げる知識と能力について、ご記入ください。

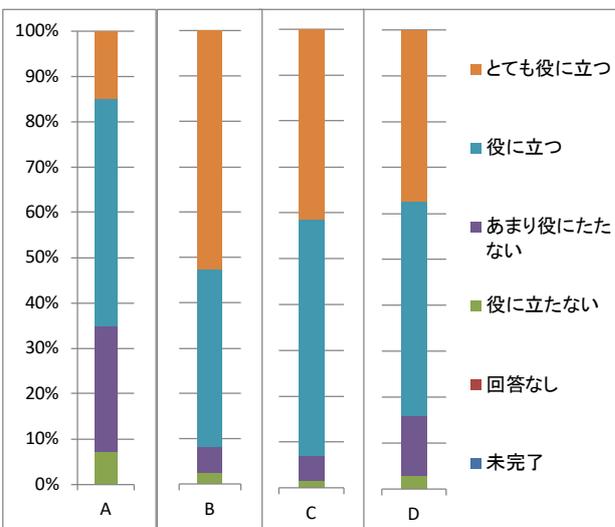
- 1 とてもそう思う 2 そう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない

A	地球的な視点から多面的に物事をとらえるグローバルな感性を持ち、人間と自然との共生、社会との連携について考える広い教養を身につけている
B	自らの考えや論点・研究成果を効果的に表現・発信し、また他者の価値観を深く理解して、多様な人々と協働することで、チームの目標達成に寄与できる高い能力を身につけている
C	上級技術者・研究者として社会的・倫理的責任を有し、社会、環境、技術等の変化に対応して、継続的に、自ら計画し学習する能力を身につけている
D	自然科学および技術科学分野の専門技術に関する高度な知識を修得し、それらを統合的に活用して課題を理解・解決できる実践的・創造的能力を身につけている

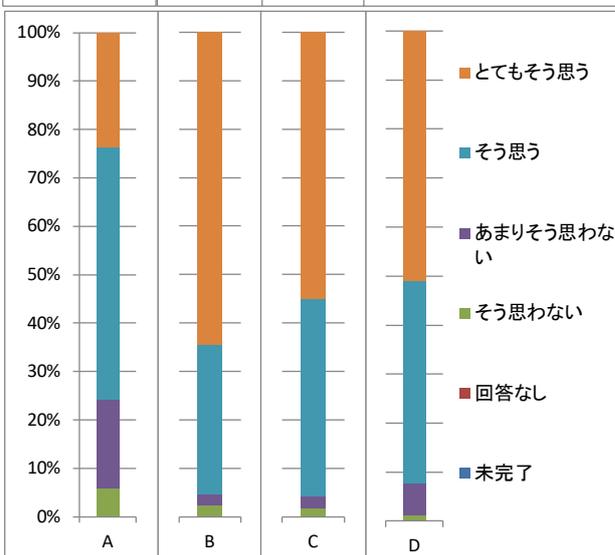
		A	B	C	D	
問3-1	よく身についたと思う	回答数	28	74	74	54
		%	16.57%	43.79%	43.79%	31.95%
	身についたと思う	回答数	76	73	76	91
		%	44.97%	43.20%	44.97%	53.85%
	最低限は身についたと思う	回答数	65	22	19	24
		%	38.46%	13.02%	11.24%	14.20%
	回答なし	回答数	0	0	0	0
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
未完了or非表示	回答数	0	0	0	0	
	%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	



問3-2	とても役に立つ	回答数	25	89	70	63
		%	14.79%	52.66%	41.42%	37.28%
	役に立つ	回答数	85	66	87	79
		%	50.30%	39.05%	51.48%	46.75%
	あまり役にたたない	回答数	47	10	9	22
		%	27.81%	5.92%	5.33%	13.02%
	役に立たない	回答数	12	4	3	5
		%	7.10%	2.37%	1.78%	2.96%
回答なし	回答数	0	0	0	0	
	%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
未完了or非表示	回答数	0	0	0	0	
	%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	



問3-3	とてもそう思う	回答数	40	109	93	86
		%	23.67%	64.50%	55.03%	50.89%
	そう思う	回答数	88	52	69	70
		%	52.07%	30.77%	40.83%	41.42%
	あまりそう思わない	回答数	31	4	4	11
		%	18.34%	2.37%	2.37%	6.51%
	そう思わない	回答数	10	4	3	2
		%	5.92%	2.37%	1.78%	1.18%
回答なし	回答数	0	0	0	0	
	%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
未完了or非表示	回答数	0	0	0	0	
	%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	



問4. 次の表に掲げる能力・資質は、社会人基礎力等に基づき、社会人として必要と思われる能力を類型化したものです。実社会で積み重ねてきた経験に照らしてご記入ください。

問4-1. 次の表の能力・資質を身につけているかについて、ご記入ください。

1 よく身につけている 2 身につけている 3 あまり身につけていない 4 身につけていない

問4-2. 次の表の能力・資質のうち、実社会における経験に照らして必要とお考えになるものについて、ご記入ください。

1 必要である 2 どちらかという必要である 3 あまり必要でない 4 必要でない

		問4-1「身につけていますか」					問4-2「必要ですか」				
		◎	○	△	×	未回答	◎	○	△	×	未回答
1 文章表現力	回答数	29	107	29	4	0	139	22	7	1	0
	%	17.16%	63.31%	17.16%	2.37%	0.00%	82.25%	13.02%	4.14%	0.59%	0.00%
2 計算力	回答数	62	86	19	2	0	95	53	19	2	0
	%	36.69%	50.89%	11.24%	1.18%	0.00%	56.21%	31.36%	11.24%	1.18%	0.00%
3 基本ITスキル	回答数	38	74	47	10	0	83	77	7	2	0
	%	22.49%	43.79%	27.81%	5.92%	0.00%	49.11%	45.56%	4.14%	1.18%	0.00%
4 主体性	回答数	50	99	17	3	0	137	25	5	2	0
	%	29.59%	58.58%	10.06%	1.78%	0.00%	81.07%	14.79%	2.96%	1.18%	0.00%
5 働きかける力	回答数	38	71	57	3	0	132	31	4	2	0
	%	22.49%	42.01%	33.73%	1.78%	0.00%	78.11%	18.34%	2.37%	1.18%	0.00%
6 実行力	回答数	50	87	32	0	0	137	27	2	3	0
	%	29.59%	51.48%	18.93%	0.00%	0.00%	81.07%	15.98%	1.18%	1.78%	0.00%
7 課題発見力	回答数	49	98	20	2	0	134	27	6	2	0
	%	28.99%	57.99%	11.83%	1.18%	0.00%	79.29%	15.98%	3.55%	1.18%	0.00%
8 計画力	回答数	39	91	36	3	0	135	23	9	2	0
	%	23.08%	53.85%	21.30%	1.78%	0.00%	79.88%	13.61%	5.33%	1.18%	0.00%
9 創造力	回答数	32	65	61	11	0	98	55	14	2	0
	%	18.93%	38.46%	36.09%	6.51%	0.00%	57.99%	32.54%	8.28%	1.18%	0.00%
10 発信力	回答数	40	81	42	6	0	133	29	5	2	0
	%	23.67%	47.93%	24.85%	3.55%	0.00%	78.70%	17.16%	2.96%	1.18%	0.00%
11 傾聴力	回答数	52	99	18	0	0	129	35	4	1	0
	%	30.77%	58.58%	10.65%	0.00%	0.00%	76.33%	20.71%	2.37%	0.59%	0.00%
12 柔軟性	回答数	53	96	19	1	0	124	40	4	1	0
	%	31.36%	56.80%	11.24%	0.59%	0.00%	73.37%	23.67%	2.37%	0.59%	0.00%
13 状況把握力	回答数	54	97	18	0	0	130	32	6	1	0
	%	31.95%	57.40%	10.65%	0.00%	0.00%	76.92%	18.93%	3.55%	0.59%	0.00%
14 規律性	回答数	69	79	18	3	0	112	45	11	1	0
	%	40.83%	46.75%	10.65%	1.78%	0.00%	66.27%	26.63%	6.51%	0.59%	0.00%
15 ストレスコントロール力	回答数	47	70	43	9	0	127	38	3	1	0
	%	27.81%	41.42%	25.44%	5.33%	0.00%	75.15%	22.49%	1.78%	0.59%	0.00%
16 専門知識	回答数	50	96	22	1	0	111	45	11	2	0
	%	29.59%	56.80%	13.02%	0.59%	0.00%	65.68%	26.63%	6.51%	1.18%	0.00%

問4-3. 次の表の能力・資質を身につけるのに何に役に立ったかについて、ご記入ください。(複数回答可)。

1 本学での教育 2 研究室ゼミ 3 実務訓練 4 クラブ・サークル活動、先輩・友人との交流 5 アルバイト 6 留学経験
7 ボランティア・社会貢献活動 8 勤務先における研修 9 その他()

		大学教育	ゼミ	実務訓練	サークル	バイト	留学	ボランティア	研修	その他	その他詳細
		回答数	56	154	28	15	9	1	3	29	0
%	18.98%	52.20%	9.49%	5.08%	3.05%	0.34%	1.02%	9.83%	0.00%		
2 計算力	回答数	126	124	15	5	6	1	10	0		
	%	43.75%	43.06%	5.21%	1.74%	2.08%	0.35%	3.47%	0.00%		
3 基本ITスキル	回答数	83	116	18	11	2	0	34	0		
	%	31.20%	43.61%	6.77%	4.14%	0.75%	0.00%	12.78%	0.00%		
4 主体性	回答数	31	142	45	46	43	7	28	0		
	%	8.86%	40.57%	12.86%	13.14%	12.29%	2.00%	8.00%	0.00%		
5 働きかける力	回答数	23	117	31	51	44	2	33	0		
	%	7.44%	37.86%	10.03%	16.50%	14.24%	0.65%	10.68%	0.00%		
6 実行力	回答数	32	148	48	50	33	5	32	0		
	%	9.04%	41.81%	13.56%	14.12%	9.32%	1.41%	9.04%	0.00%		
7 課題発見力	回答数	40	155	40	33	15	4	31	0		
	%	12.50%	48.44%	12.50%	10.31%	4.69%	1.25%	9.69%	0.00%		
8 計画力	回答数	34	146	40	28	20	4	33	0		
	%	11.04%	47.40%	12.99%	9.09%	6.49%	1.30%	10.71%	0.00%		
9 創造力	回答数	44	142	35	42	19	2	20	0		
	%	14.24%	45.95%	11.33%	13.59%	6.15%	0.65%	6.47%	0.00%		
10 発信力	回答数	29	123	41	57	23	3	25	0		
	%	9.45%	40.07%	13.36%	18.57%	7.49%	0.98%	8.14%	0.00%		
11 傾聴力	回答数	50	130	39	61	46	0	30	0		
	%	13.85%	36.01%	10.80%	16.90%	12.74%	0.00%	8.31%	0.00%		
12 柔軟性	回答数	36	125	43	66	54	5	27	0		
	%	9.92%	34.44%	11.85%	18.18%	14.88%	1.38%	7.44%	0.00%		
13 状況把握力	回答数	36	129	54	57	52	5	30	0		
	%	9.68%	34.68%	14.52%	15.32%	13.98%	1.34%	8.06%	0.00%		
14 規律性	回答数	68	113	56	44	56	2	50	0		
	%	17.26%	28.68%	14.21%	11.17%	14.21%	0.51%	12.69%	0.00%		
15 ストレスコントロール力	回答数	33	119	26	51	48	3	25	0		
	%	10.68%	38.51%	8.41%	16.50%	15.53%	0.97%	8.09%	0.00%		
16 専門知識	回答数	111	156	44	13	2	3	40	0		
	%	29.76%	41.82%	11.80%	3.49%	0.54%	0.80%	10.72%	0.00%		

問5. 授業全般の有益性について、お尋ねします。

問5-1. 実社会での経験を踏まえて大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらその授業名と、また、よろしければ理由を自由にご記入ください。

1	振動工学(河村先生)→振動はメーカーならどの会社でも役立ちます。
2	実務訓練。やはり、授業や大学の中だけでは分からない社会に出て働き方、エンジニアとしてどうすれば良いか学べるため。
3	三浦(博)先生の講義全般講義、研究室でご指導頂いた内容が実業務遂行に役に立っている。
4	研究室
5	材料力学
6	実務訓練
7	機械創造実験 レゴを用いて、小グループの中で議論を深め、一番早く荷物をゴールまで持っていく内容で、協調性や創造力、傾聴力、主体性を深めることができたと思う。
8	技術者倫理 普通科高校では身につかない視点の考え方・倫理観を学べた
9	機械創造実験？(ロボットをチームで製作する授業) 目標達成のための思考力が鍛えられたため。
10	トライボロジー
11	研究以外はほとんど印象が無い。
12	卒業研究・特別研究
13	研究: 答えのない問題に、自分で考えて行動するよい訓練になっていると思う。 機力、材力、熱力、流力等、専門知識はだいたい役に立っている。 一般科目も就職後に研修等で学ぶことの知識ベースとして、有意義なものだったと思う。
14	弾性力学: 足立先生の授業でした。時間を要しても正確な解を得るか、早く近似解を得るかどちらが重要か見極めるお話が大学院の研究と会社の業務に役立っている気がします。
15	輪講
16	授業内容: エクセルでVBAを学ぶ実習。理由: 業務で活用することが多かったため。
17	実務訓練は実際の社会や会社を学ぶ有意義な機会だった。
18	材料力学、トライボロジー。業務上で使用する知識が多いため
19	ゼミ
20	振動工学、材料力学
21	電気化学、電気回路 担当する開発業務に知識を使用したため
22	電気応用工学 毎回学生が順番に講師となり授業を行っていく輪講ゼミ形式で伝える力が身につく。言語と思想 科学哲学が面白いと思った。講師がしっかりレポートを読んでくれていて自分の論述にコメントをくれたのが嬉しかった。工学者の一般教養として良い知見が得られた。
23	そのようなものはない
24	数学関連の各種講義や高電圧工学は実社会でも役に立っており有意義であったと思う。
25	学生実験 自ら課題を見つけて学習できた
26	固体電子工学、半導体工学、電子デバイス論(半導体の基礎となる部分のため)、国文学I(言葉の扱い)、数学全般(汎用性が高い)
27	技術者倫理 技術者・エンジニアとして、取得したデータを元にモノづくりを行っていく中で、基本的な考え方を学ぶことが出来たため。
28	電気回路/電子回路/電磁気 理由: 電気エンジニアとして最低限必要な知識が詰まっていると感じるため
29	研究者倫理
30	経営論
31	マーケティング理論、営業担当と話す際に役立つ
32	電気機械工学Ⅱと学生実験。業務でパワーエレクトロニクスの知識を最も使用しているため。
33	情報通信ネットワーク 現在携わる業務の基本になり、ICTに関する基礎知識が習得できたため
34	マーケティング論: 企業に入ると(方法は様々であるが)で「利益を上げるための施策」に貢献する活動が求められるため。自社の営業方針を理解する基礎知識として、知らないよりはよほど良い 国文学: プレゼンテーション 会社でもなんやかんやで自己紹介プレゼン資料やチームビルディングの一貫で興味分野をプレゼンすることなどを求められるため。かつちりしていない、魅力を伝えることに特化したプレゼンができるいい機会だったと思う
35	ネットワークに関する授業全般
36	プログラミング演習、実験 自分で手を動かすこと、レポートにまとめることの訓練になった
37	学部3年次に受講した「ソフトウェア演習」が有意義だった。基本的なプログラミングに関する知識を身に付けることができ、研究室配属後のプログラム開発に大いに役立ったため。
38	一般科目全般。社会人になってからは専門以外の勉強をする機会がないため。
39	統計的機械学習特論、データサイエンス特論
40	1. プログラミングの実習授業(プログラミングに対する苦手意識がなくなった。ただしプログラミングが得意な友人が近くに座っていたことが大きい)、2. Arduinoを用いた製作授業(低レイヤの感覚を把握できた)、3. Linuxを用いたセキュリティの実習授業(Linuxコマンドの知識等が実務で直接役立っている)、4. RDB/SQLの授業(実務で直接役立っている)
41	ロボコン
42	生化学
43	有機化学 化学メーカーで働くのに必要な知識だから。
44	吉田先生の授業で脳について興味を持つようになった。

45	研究室の体験
	実務訓練
46	社会に出る前に企業での実務訓練を通して、学生と社会人の違いを感じることができることはもちろん、企業で働くことを肌で感じることで、企業選びに大いに活かすことができました。
	技術者倫理。
47	技術者としての基本的な考え方は社会人になって学ぶことはあまりなく、一般的な常識としてとらえられる傾向にあるように感じ、あらかじめ教育を受けておく必要がある思ったため
	分離科学(齊戸 美弘教授)
48	業務にて光学や分光分析について扱うことがあり、当時学んだ知識が活かされている。
49	実験全般、化学工学分野の授業は、現在でも役立っていると感じます。
50	化学全般
51	臨床心理学
52	実務訓練
53	授業ではないが長期インターンシップ。欠片だけでも社会人の立場を経験することは大事。
54	実務訓練 英語を使ったコミュニケーション能力を養えるから
55	設計製図の授業は課題解決力の向上に役立った
56	構造力学Ⅳ 理由:現在情報系の会社に入社し、プログラミングを行っており、学生時代で唯一プログラミングにふれることができた講義であったため。
57	構造力学 実際に使っているため。
	耐震構造設計論:現職において、建物の耐震性を考える際の基礎を学ぶことができたため
58	建設材料学:建築構造設計において必須の、建設材料の特性等を学べたため
59	建築設計:グループで成果物を期限までに形にするために最低限必要な計画性、協調性、主体性が身についた。
60	実務訓練
61	技術者倫理
62	ヨーロッパの思想と文化
63	修士時代のゼミ
64	リベラルアーツとして受講した坂本先生のマーケティング論やデザインマネジメントが大変有意義だった。ものやサービスを作り、価値を提供する際に考える思考のフレームワークを学べたと思う。
65	各専門授業や実務研修:実務に則しているため
66	実験系の授業
67	研究室のゼミ、実務訓練
68	研究
69	土質力学

問5-2. 実社会での経験を踏まえて、大学のカリキュラムに追加すべきだとお考えになる授業がありましたらその授業名と、また、よろしければ理由を自由にご記入ください。

1	長岡と同様に、豊橋でも教員免許の取得が可能だと良いなと在学時に考えていました。
2	アンガーマネジメント
3	LGBTなどの性的マイノリティ、女性嫌悪に関する授業→メーカーに技術系として入社し、男女ともに工学部卒業生の上記に対する意識が低いと感じたため。
4	英語での授業。今海外赴任中で現地の方とのやりとりでもっと英語をやっておけばよかったと思うので。コミュニケーション。
5	Excel表計算 出身大学問わず、扱いに慣れてない新卒社員が多いため
6	Officeの使い方
7	電気回路(3年次以降)、エンジンの基礎を学習する科目、油圧回路
8	office365使いこなし術のような科目があるとより実用的かとおもいます。
9	品質管理 品質管理の知識・考え方は機械系に限らず、モノづくりのすべてに役立つ
10	研究室の専門分野以外への実務訓練 自分の専門分野に関連する企業へ就職したが、実際の業務では大学時代の専門と全く異なる業務をしているため、もっと広い視野を持って就職活動をすればよかったと感じているため。
11	VBA 簡単なプログラムができると良い気がします。
12	私の実社会での経験(前職)から言えば、早く就職して社会に揉まれた方が良い。なお、下記の間6は現職の経験から回答。
13	年金・投資など経済に関する授業
14	大学は研究機関であるべきだと思う。学術研究を大切にほしい。 就職を意識せざるを得ないとは思いますが、就職予備校とならないでほしい。
15	授業名はありませんが、プレゼンスキルを向上させるものがあつたら、良いと思いました。
16	プログラミング: 普通の業務で使えると便利な機械が数多くある。もちろんなくても対応できるのだが、知識があれば楽だと思うことが多い。
17	授業内容: Arduinoなどワンボードマイコンを使った実習。理由: 他の知識との相乗効果が大きいと感じるため。
18	行列
19	特定の専門知識や技術力を生かした深堀りする能力の育成については大学内部で充実している印象を受けますが、一方で社会人が身に付けるべきベーススキルである、タスク管理(同列のマルチタスクに対する優先順位付けや計画立案と遂行能力)や報連相(昨今ではメールや電話に限らずTeams等のチャットやオンライン会議)をいかにカリキュラムの中に組み入れるべきかも1つのテーマとして検討すべきポイントと考えております。 ※取り分け才能ある有望な学生の中で、そのような適性が乏しい場合と判断された方や有志を対象に重点的かつ強化的に少人数形式でトレーニングを実施するなど(やはり実践ベース、自分事としたOJTでしか培えないか)。
20	ロジカルシンキング、お金の稼ぎ方・扱い方
21	電気法規 既にあつたらすみません。電験の法規科目のような電気事業法や電気施設管理を学びたかった。就職すると現場は法律とコンプライアンスに基づいて運用されていること、そうでなければならぬことがよくわかりました。
22	AI
23	実社会では今後DX人材がさらに重宝される時代になっていくことが想定されるため、大学時代からDX人材を育成できるプログラムや講義があると良いと思う。
24	実践的な英語の授業
25	輪講などの自分で学習した内容を発信する授業
26	半導体プロセス技術(物理やデバイス原理は講義が充実しているが、プロセス面は講義では少ないため)
27	税金
28	プログラミング・機械学習に関する授業 データ処理、データ分析に使える実用的な能力が欲しいため
29	CAD 理由:メーカーにて電気回路を作成する際に必要となるが、大学では学んでいなかったため
30	社会人と学生の違いを教える機会
31	アルゴリズム
32	回路パターン設計やノイズに関する知識を大学で習得できれば、現在の業務に役立ったと思う。
33	ビジネスマナー講座 技科大は高専上がりが多く、技術に傾注しすぎて社会人の一般常識が足りていない部分があると、自身の経験からも感じたため。
34	日本経済、グローバル経済(企業就職希望者向け) 今の日本、もしくは世界の企業構造の勢力図、実態
35	企業の経営、各企業の特徴など
36	研究を行う上での倫理について、教科書的な内容だけでなく、実際に遭遇し得る状況や、実際の例なども交えて、研究を遂行する上での倫理を早い段階でしっかりと身に付けられると良いと思った。「ソフトウェア演習」については、基礎となる言語だけでなく、近年主流となっている言語や、実際に企業などでよく使われている言語についても柔軟に取り入れても良いと思った。
37	特になし。既存カリキュラムをよりわかりやすく、より充実した内容にしていくことが重要と思う。
38	環境生命のみのお話だが、CAD/CAMを必修にして頂きたい。
39	論文書き方の基礎
40	AIを使った研修プログラム
41	聞く力を養う研修
42	税制度に関する授業
43	企業で働く上で持っている有用な資格について講座等があると、資格取得に役立て、就職活動においても役立つと思います。
44	Excelのマクロ作成 数式作成, 見やすい資料の作成方法, 分かりやすい報告方法
45	これからはカーボンニュートラル・SDGs・省エネ/創エネなどのキーワードが重要になってくることと思います。 これらが今後の社会でいかに重要かを知ってもらえる機会があればよいと思います。

46	物理
47	目的思考や課題解決といった思考を育てる授業があると良い。
48	ITモラルの知識
49	資格を取るための大学ではないと思いますが、きっかけづくりや支援が授業、ゼミともにあってもいいかと思ます
50	PythonやJavaなど、使用率の高い言語のプログラミングの授業。プログラム系の授業はあったが、教員の慣れ親しんだ言語の授業であり、一般に多く使われている言語を用いた授業の方が効果的だと思う。
51	建築情報設計論 コンピューテーショナルデザインについて、専門的に学ぶ機会を設けたほうが良いと感じたため
52	社会人マナーなど
53	ディベート等が出来るクラス、技術者は言葉にして議論することが苦手な傾向がある為
54	創造力を磨くことができる授業
55	足場、支保工、型枠の計算など実務で使える計算

問6. 豊橋技術科学大学で学んだことが、現在のキャリア(仕事)形成でどのような点で有益でしたか。当てはまるすべての項目に○をつけてください。

	回答数	%
(1)より高度な理工系の基礎を身につけていることが、業務で役立っている。	88	14.08%
(2)専門科目の授業内容が、業務を支える基礎となっている。	86	13.76%
(3)専門科目以外で、業務に役立っていることがある。	49	7.84%
(4)卒業論文研究・ゼミで研究・学習した経験や方法が、業務の遂行に役立っている。	126	20.16%
(5)他分野・他業種の人々との論理的なコミュニケーションをとりやすいことが、業務を促進させている。	60	9.60%
(6)プログラミングその他のコンピュータ利用技術が高度に優れていることが業務に活かしている。	39	6.24%
(7)論理的に筋道が通ったプレゼンテーションができることが業務に有利である。	69	11.04%
(8)新しい科学や技術の原理を理解し、判断し、利用できることで、業務を円滑に遂行できる。	43	6.88%
(9)データ処理や解析を高度に行うことができるので、業務に有利である。	47	7.52%
(10)様々な現象に対して高度にモデル化ができることが、業務の助けとなっている。	18	2.88%
未回答	0	0.00%

問7. 一般科目は、現在のキャリア(仕事)形成に役立っていますか。当てはまるすべての項目に○をつけてください。

	回答数	%
人文科学科目(哲学, 史学, 文学, 言語学, 心理学, 生理学, 衛生学)	65	34.03%
社会科学科目(法学, 経済学, 経営学)	48	25.13%
未回答	78	40.84%

問8. 専門科目について、お尋ねします。

問8-1. 専門科目は、現在のキャリア(仕事)形成に役立っていますか。ご記入ください。

1 とても役立っている 2 役立っている 3 あまり役立っていない 4 役立っていない

とても役立っている	役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	未完了or非表示
63	62	38	6	0
37.28%	36.69%	22.49%	3.55%	0.00%

問8-2. 現在のキャリア(仕事)形成に役立ったと思う具体的な授業がありましたら、その授業名をご記入ください。(授業名は正確でなくても構いません)

1	材料工学、熱力学
2	塑性加工
3	哲学
4	材料力学、数学、物理
5	材料力学
6	流体系と構造力学
7	材料工学系に関する科目
8	材料力学
9	知的財産
10	トライボロジー 機械工学 材料力学
11	制御工学(実際に教員として制御工学を教える立場になったので)
12	卒業研究・特別研究
13	力学全般、制御工学
14	制御工学
15	工学の実習系
16	輪講
17	金属材料
18	金属材料学
19	機械工学実験
20	材料力学、熱力学(流体力学分野)
21	材料力学、トライボロジー
22	金属工学

23	振動工学
24	モード解析学
25	並列計算
26	電気化学、電気回路、エネルギー変換工学
27	電気回路、電子デバイス
28	卒業研究 電気電子情報工学実験
29	高電圧工学や電気回路、電子回路は実際の業務に役立ったと思っている。
30	半導体材料全般
31	固体電子工学、半導体工学、電子デバイス論
32	半導体系
33	授業名は覚えていませんが、川北先生が担当していたもの
34	電磁気学など
35	コンピュータプロセッシング関連はかなり広い範囲の専門性を持つことができる
36	電気機械工学Ⅱ、学生実験
37	学生実験、研究室ゼミなど
38	情報通信ネットワーク
39	ソフトウェア演習
40	アルゴリズム系の授業
41	輪講、現在の仕事形式よく似ている
42	ArduinoやLinuxを用いた一連の実習授業
43	センサ応用、制御工学
44	技術者倫理
45	有機化学
46	生物系・危険物
47	生物全般に関する講義
48	生命科学
49	生化学
50	有機化学、無機化学、物理化学、技術英語、高分子化学 主に化学の基礎的な内容
51	分離科学
52	分子生物学
53	数学全般の講義です。公式の理解、導出に役立っています。
54	化学に関する授業全般
55	経営の授業は結構役に立つ内容だったのでもっとあっても良かったと思います
56	構造力学
57	デザイン論
58	構造力学、実務訓練
59	鉄筋コンクリート構造設計論
60	水理学、構造力学、建設材料学など
61	地盤力学、海岸工学
62	地盤工学、水理学、構造力学、材料学、実験
63	土質力学
64	構造力学、水理学
65	建築設計に関する授業全般
66	数学、物理学、建築学、土木学系講義
67	土質力学

問9. 英語運用能力について、お尋ねします。

問9-1. 現在、業務上で英語能力が必要とされる場面がありましたら、差し支えない範囲で、その内容を自由にご記入ください。

1	英語講師の外国人とのコミュニケーションがとれる
2	英語論文の読み書き、大学の多国籍学生との共同研究でのコミュニケーション
3	今海外赴任中で、ローカルメンバーとのやりとりで必須。
4	外国企業との仕様書締結
5	図面に英語内容を記載する場合がある
6	文献調査、外国籍の社員とのコミュニケーション

7	昇進に必要
8	論文検索の際に、英語を使う程度
9	海外支社と業務連絡を行う際に、英語文章能力が必要
10	海外拠点および外国籍の方との会議
11	海外部署とのメールやり取り 海外からの見学者対応
12	海外での生産設備立ち上げ
13	海外顧客向けの資料翻訳
14	高専教員の身としては、英語が使えない方が恥ずかしい
15	実務では特になし。昇給には必要。
16	図面に英語の説明文を記載する際に必要でした。
17	海外拠点との会議
18	学会発表、海外研修生教育
19	海外出張
20	海外支部とのオンラインミーティングやメール。
21	業務で英語でコミュニケーションを取る機会がある。
22	会議上
23	特になし
24	学会発表
25	北米の技術者とプロジェクト
26	社内の外国人とのメール、英語資料作成など
27	外国籍企業とのやりとり
28	海外企業とのコミュニケーション、英語で書かれた論文やニュースを読む
29	昇進
30	現状は業務上で必要となる場面がないため回答不可。
31	トラブル発生時に、解決方法をWEBで調べる際、英語のサイトを読むことがある
32	駅業務時に外国人観光客へ案内するとき。
33	チームのミーティング 社内通知が基本英語
34	文献を読む程度
35	文献調査、学会参加、海外顧客とのやり取り
36	海外支部へのプレゼン
37	論文調査
38	海外拠点の試験設備構築、外部監査、海外企業とのやり取り等
39	昇格、文献読み
40	海外出張
41	海外勤務中のため、あらゆる業務で英語でのコミュニケーションが必要になっています。
42	英語での発表機会がありました
43	海外出張
44	本社とのやり取りに必須
45	海外規格に仕様を変更する際
46	電子部品の選定時、データシートが英語の場合。
47	英語論文執筆、英語論文調査、海外発表など
48	ネットワーク機器は基本的には外国製で、詳細な情報を確認するためには英語のウェブサイトを確認する必要がある。
49	業務上は特になし グローバルに進出したいなら英会話ができることはほぼ必須
50	英語ドキュメント読解。海外支社とのコミュニケート
51	英語のドキュメントを閲覧する必要があるとき
52	論文調査
53	海外支社とミーティング英語のドキュメントを読む海外のイベントに出席
54	海外の方が多いため、ミーティングや日常的な会話を英語で行わなければならない場面が多々ある。
55	分散システムの資料を読む時
56	英語文献の閲覧
57	文献調査
58	1. 日本語情報が少ないか日本語情報の信頼性が低いソフトウェアなどの情報を収集したりマニュアルを調べる場面、2. 海外関係会社の人とコミュニケーションをとる場面、3. GitHubなどの英語が主体のコミュニティを活用する場面
59	取引先とのビジネス(メールやり取り、電話会議)
60	海外顧客とのやり取り
61	プログラム把握 前職での翻訳作業

62	共同研究
63	特許調査
64	顧客がグローバル化している。また論文を読む際に必要。
65	仕様書を読む
66	プログラミングでのエラーメッセージ、サイト内での説明文は英語が多い。
67	取引先向け文書を英語で作成することや、宗教認証監査で英語を使用することがあります。
68	海外の顧客に向けて文書を作成するとき、海外の代理店からのメールを確認するとき
69	製造元(米国)との折衝
70	海外出張において通訳なしで拠点スタッフと業務遂行。海外役務として海外拠点への技術教育。
71	海外ジャーナルを読むときに必要
72	論文の読み取り
73	論文を読むとき、海外の学会に参加する際に必要です。
74	海外出張、海外技術者とのコミュニケーション
75	海外向けの安全データシートの作成および翻訳
76	海外の人とのメールのやり取りや文献調査
77	海外拠点とのWEB技術交流、海外の方が来日された際のアテンド
78	外国人の従業員がいるため、またマニュアル等が英語が多いため
79	昇格条件
80	海外での学会発表、海外への学会の論文投稿
81	アルバイト留学生との交流
82	海外部署なので毎日必要

問9-2. 実践的な英語運用能力を身につけるために、在学中にしておくべきだったと思われることがあれば、その内容を自由にご記入ください。

1	英会話(オンラインでも可)。在学時に、オンライン英会話に関する教材の提供や案内があればよいかと思います。
2	リスニングとスピーキング。読み書きも大事ですが、対人のコミュニケーション、特に多国籍の方との会話をしておくべきだったと思います。
3	TOEIC以外にも留学生との積極的な英語でのコミュニケーションも異文化の勉強。
4	英会話、TOEIC
5	英語を勉強することの意識づけ
6	技術英語の基礎
7	TOEICの解き方
8	英語に触れる機会を増やす、あるいは思い切って留学を経験する
9	課題解決型の会議およびプレゼン発表を想定した授業。
10	発音を覚える事 論文は多少読めるが、話すことが出来ないことが多いため
11	できる限りのことはしたが、結局英語力はあまり身につかなかった
12	特にない。必要だと悟れた時にやるのが良いと思いました。
13	英作文、スピーキング力
14	TOEICの勉強
15	業務形態にもよるが読み書きよりも 聞く、話すを身につけた方が良いと考える
16	TOEIC
17	英会話を行うための実践的な授業。リスニングやそのためのシャドーイングなど。
18	英会話
19	もっと喋る
20	英会話
21	実践的な英語(ビジネス英語、敬語など)をもっと学んでおくべきだったが、必要な状況を経験しないとイメージができないので、在学中は難しいと思う
22	英会話
23	英会話
24	英会話する機会を設けること
25	TOEICであれば600点程度までは到達しておくのと良いと思う。
26	専門用語の英語表記を理解すること
27	留学
28	留学
29	英会話
30	読み書きだけでなく会話能力の向上
31	海外留学
32	聞く力、話す力の向上
33	海外留学

34	英会話
35	留学
36	英会話を重点的に勉強した方がよかったです。
37	リスニング能力を身に着けること
38	英会話
39	会話力およびマニュアル等を読む能力
40	単語力
41	単語力とリーディング力
42	英会話
43	特になし
44	留学生と日本語以外でのコミュニケーションを試みること
45	大学英語についてもっと本格的に学ぶべき
46	英語基礎の学習
47	英会話のトレーニング
48	海外の機関での実務経験、留学生との交流
49	もっとコンピューター系の論文とか読んでおくべきだった
50	ライティング・リスニング・スピーキング
51	1. 専門分野の情報を英語で積極的に摂取すること, 2. アウトプット(会話、ライティング)の練習
52	英語で会議するシミュレーション
53	海外留学、英語学習、英会話学習
54	英会話
55	TOEICの勉強
56	留学生との英語の会話
57	もっと実践的な英語、英会話を身に付けたかった。
58	ビジネス英語
59	読み書きではなく、喋る機会を増やすこと。
60	TOEIC、技術系英語はもちろんのこと、実践的な会話も必要と感じます。英語を身近にすることが重要だと思います。
61	継続的なTOEIC受講、それに向けた勉強
62	基本的なコミュニケーション能力、専門用語
63	基本的な英会話のスキルを身につけておけば、今ほど苦労はなかったのではないかと感じています。
64	論文を読むこと
65	留学生との交流
66	英語の勉強と話す機会の獲得
67	英会話学習
68	短期留学、海外インターン
69	留学生と英語を使ったコミュニケーション
70	TOEICの基礎的な勉強
71	しておくべき、というよりはしておいてよかったこととして、ゼミ内の留学生と何気ない会話を交わしておくこと。
72	積極的な留学生との交流
73	ライティング、スピーキングを重点的に勉強すべきであった
74	英会話レベルの勉強、レッスン
75	TOEICの積極的な勉強
76	英語検定

問10. 本学の技術科学教育に必要な科目として設けた授業について、お尋ねします。

問10-1. 必修で実施した「生命科学」は、実社会での経験を踏まえて有意義だったと思うかについて、ご記入ください。

1 とても有意義だった 2 有意義だった 3 あまり有意義でなかった 4 有意義でなかった

とても有意義	有意義	あまり有意義でない	有意義でない	未完了or非表示
11	67	79	12	0
6.51%	39.64%	46.75%	7.10%	0.00%

問10-2. 必修で実施した「環境科学」は、実社会での経験を踏まえて有意義だったと思うかについて、ご記入ください。

1 とても有意義だった 2 有意義だった 3 あまり有意義でなかった 4 有意義でなかった

とても有意義	有意義	あまり有意義でない	有意義でない	未完了or非表示
13	74	70	12	0
7.69%	43.79%	41.42%	7.10%	0.00%

問10-3. 本学の学部出身者のみご回答ください。学部4年次の2か月間必修で実施した「実務訓練」は、実社会での経験を踏まえて有意義だったと思うかについて、ご記入ください。

1 とても有意義だった 2 有意義だった 3 あまり有意義でなかった 4 有意義でなかった

とても有意義	有意義	あまり有意義でない	有意義でない	未完了or非表示
91	42	11	11	14
53.85%	24.85%	6.51%	6.51%	8.28%

問10-4. 修士研究を行うにあたり、足りないと感じた知識がありましたら、その授業名、またはその内容を自由にご記入ください。

1	特になし。
2	特に無し
3	化学
4	音響学
5	統計解析 データの扱い方を学ぶ教科は必修であるべきと感じるため。
6	品質管理 QC七つ道具など、品質管理の知識は研究でも活かせる部分が多い
7	化学
8	数学の知識不足を常に感じていたが、単純に授業を増やすだけでは解決しないと思う。単純に数学的センスが身につけていない。
9	実験計画法などの統計的な手法
10	連続体力学、高分子化学 高分子のアクチュエータに関する研究をしていましたが、上記の知識が足りませんでした。
11	特になし
12	基本的な研究の進め方についての知識。
13	化学系の授業全般、特に物理化学、結晶工学
14	化学 本学のほとんどの電気電子の研究室のテーマは化学の知識が欠かせないが苦手意識が強いまま研究していた。
15	論文の書き方、論文の検索の仕方、研究計画の建て方
16	データ処理や統計に関する知識が不足していたと感じている。
17	固体電子
18	文章を書く能力を論理的に学べる機会がほしい
19	英語。英語論文を読むのに苦労した。
20	プログラミング
21	基本的に情報通信系の授業が少なく、修士単位の半分は他コースの授業で補っていた
22	化学知識
23	実験計画の立て方
24	電磁気学
25	企業でのインターンシップ期間を設けても良いと考えます
26	英語
27	専門的な知識というより、情報を探す・まとめる・活用するための知識があると研究がより捗ったと思う。
28	文章作成能力
29	問題を分解・整理して本質の課題を明らかにするような能力
30	物理化学に関する知識が不足していたと感じています。
31	実験データ(数値)を正しく理解したり整理するための知識(統計学?)
32	修士研究に望むための心構えが教授陣と学生でかけ離れているので、修士課程に進む意味や研究をすることの目的を、学生生活との両立を踏まえてかんがえる時間があってもいいのではないのでしょうか
33	弾性力学、有限要素解析 弾性力学の基礎知識について学ぶ機会が少ないと感じた
34	海岸工学(それに関する授業がなかったとおもう)

問10-5. 大学院博士後期課程修了生のみご回答ください。博士後期課程2年次の必修科目として行われた「複合領域研究特論」において、他専攻の学生に対して発表やディスカッションを行うことで新たに得られたことや気づいたことがあれば、その内容を自由にご記入ください。

1	授業自体がほとんど記憶に残っていない。
2	モデル化の考え方
3	他専攻の学生との交流は必要であるが、それを講義として行うのは、強制的にやらされているという負の感情を与えるだけであり、むしろやら

問11 本学での学びが現在の仕事に役立っているか、大学院時代の学びについて、ご記入ください。

1 とても役立っている 2 役立っている 3 あまり役立っていない 4 役立っていない

		とても役立つ	役立っている	あまり役立たない	役立っていない	未完了or非表示
本学での勉強や研究内容は現在の仕事に役立っている。	回答数	59	78	25	7	0
	%	34.91%	46.15%	14.79%	4.14%	0.00%
本学で会得した勉強姿勢、研究の進め方は現在の仕事に役立っている。	回答数	91	68	7	3	0
	%	53.85%	40.24%	4.14%	1.78%	0.00%

問12. 大学院修了時の進路希望と現在の仕事は合致しているかについて、ご記入ください。

1 とても合致している 2 概ね合致している 3 あまり合致していない 4 合致していない

とても合致	概ね合致	あまり合致していない	合致していない	未完了or非表示
57	81	23	8	0
33.73%	47.93%	13.61%	4.73%	0.00%

問13. 本学では就活に役立つスキルについて考える授業(キャリア教育)の導入を検討しています。実社会での経験を踏まえて大学時代を振り返ったときに、在学中のキャリア教育の必要性について該当する番号をご記入ください。

1 必要である 2 どちらかという必要である 3 あまり必要でない 4 必要でない

必要である	どちらかという必要	あまり必要でない	必要でない	未完了or非表示
94	62	9	4	0
55.62%	36.69%	5.33%	2.37%	0.00%

問14. 本学が実施した就職支援が役立ったかについて、ご記入ください。

1 とても役立った 2 役立った 3 あまり役立たなかった 4 役立たなかった 5 参加しなかった又は利用しなかった

(1)キャリア相談(内容:キャリアカウンセラー、ハローワークジョブサポーターにより、月に4回開催)
(2)第1回キャリアガイダンス(内容:博士後期課程紹介、キャリアデザイン説明、就職環境、就職活動スケジュール説明)
(3)第2回キャリアガイダンス(内容:OB、OGの現役エンジニアが業界、職種について説明)
(4)就職講座(内容:企業研究・業界研究について)
(5)就職講座(内容:海外・留学経験の就職活動への活かし方)
(6)就職講座(内容:面接及びグループディスカッション対策)
(7)就職講座(内容:エントリーシートの書き方)
(8)就職講座(内容:SPIの解説)
(9)学内企業説明会事前説明(内容:学内企業説明会の活用法の説明と面接対応講座)
(10)学内企業説明会(内容:大学内会場で企業がブースを設置し、企業関係者と学生が面談)
(11)各系における就職支援(就職担当教員等によるキャリア相談、系内企業説明会等)
(12)学生課窓口担当者によるキャリア相談
(13)キャリア情報室(福祉施設2階・学生交流会館)

		とても役立った	役立った	あまり役立たなかった	役立たなかった	不参加/非利用
キャリア相談	回答数	5	33	37	9	85
	%	2.96%	19.53%	21.89%	5.33%	50.30%
1stキャリアガイダンス	回答数	11	75	30	10	43
	%	6.51%	44.38%	17.75%	5.92%	25.44%
2ndキャリアガイダンス	回答数	10	78	32	7	42
	%	5.92%	46.15%	18.93%	4.14%	24.85%
就職講座 (企業研究)	回答数	13	61	31	9	55
	%	7.69%	36.09%	18.34%	5.33%	32.54%
就職講座 (海外留学)	回答数	5	34	35	14	81
	%	2.96%	20.12%	20.71%	8.28%	47.93%
就職講座 (面接対策)	回答数	5	40	31	12	81
	%	2.96%	23.67%	18.34%	7.10%	47.93%
就職講座 (エントリーシート)	回答数	11	51	26	11	70
	%	6.51%	30.18%	15.38%	6.51%	41.42%
就職講座 (SPI解説)	回答数	11	41	32	13	72
	%	6.51%	24.26%	18.93%	7.69%	42.60%
学内企業説明会 事前説明	回答数	26	61	25	10	47
	%	15.38%	36.09%	14.79%	5.92%	27.81%
学内企業説明会	回答数	39	64	17	8	41
	%	23.08%	37.87%	10.06%	4.73%	24.26%
各系就職支援	回答数	22	67	24	13	43
	%	13.02%	39.64%	14.20%	7.69%	25.44%
学生課窓口	回答数	8	35	30	14	82
	%	4.73%	20.71%	17.75%	8.28%	48.52%
キャリア情報室	回答数	7	34	32	15	81
	%	4.14%	20.12%	18.93%	8.88%	47.93%

問15. あなたにとって本学大学院への進学は有意義だったかについて、該当する番号を「問15」欄にご記入ください。

1 とても有意義だった 2 有意義だった 3 あまり有意義でなかった 4 有意義でなかった

とても有意義	有意義	あまり有意義でない	有意義でない	未完了or非表示
100	62	4	3	0
59.17%	36.69%	2.37%	1.78%	0.00%

問16. 社会に出て本学大学院を修了したことのメリットを感じたかについて、自由にご記入ください。

- 研究に対する姿勢を学べた
- 研究室の指導教員からの指導はとても厳しかったけれど、おかげで自分で考え実行する力が身についたと思います。特に、実験装置を外注せず自分たちで設計製作したことは、社会にでてから知識や技能の面で役に立ちました。
- 修士研究で、自分の手を動かし、教授に相談しながら成果を出していく過程は仕事にも役に立っていると思う。
- 力学等の基礎が身につけているので、強度検討に関する仕事に躓くことがなかった
- 多少の理不尽なら耐えられること
- 実務訓練制度は、学生の間に社会人を僅かではあるが経験できる良い制度だと思い、他校にはない利点だと思っています。
- より高い専門性が身についた
- 院卒の肩書や研究室の経験にメリットを感じた
- 能力面で成長できたように感じているが、給与へ反映されているようには感じられない。
- 研究の進め方が仕事の進め方に役立っている。
- 前職ではメリット無し。現職では博士でないと採用されないのもメリットあり。
- 文章作成能力。
- 専門知識のベースが得られる点が一番のメリットだと思う
- 研究の経験ができたこと。
- 研究がしっかりとできて、論理的思考ができるようになった

16	研究を通じて課題解決能力向上が期待できる
17	専門分野について自身をもって意見交換することができているため
18	会社のキャリア形成にメリットを感じる
19	研究を進める上での論理的な問題解決手法
20	研究内容は異なっても、研究意欲の高い方々のいる職場環境に來れた点はメリットと感じる
21	2年間の猶予ができ、その間に時間のかかるやりたいことに、チャレンジできる点
22	研究活動を通して、説得力のある資料を作る力が身につけていることで、上司への提案や報告がスムーズに行くことがメリットとして感じました
23	企業との共同研究の機会が多い
24	プロの研究者から3年間研究指導を受けられたことは企業でも役立つ貴重な経験だった
25	研究を通して計画、実行、先輩後輩との連携を学べた点
26	研究に力を入れているため自然と論理的思考と計画実行力が身についた
27	開発職に求められる学歴として院卒以上が求められていると感じるため、修了するメリットがある。
28	ざっくばらんな言い方だが、エンジニアとしてならどこに行っても活躍できる力を持った人間になった自信がある。本学の特色を知ってる人は技科大出身者に一目置いてくれる。
29	院卒としての最低限のブランド
30	研究室時代に培った計画・調整や論理的思考などは業務遂行の上でメリットを感じている。
31	必要な情報が揃っていない中で、業務を円滑に遂行するための能力が身についた(周囲に聞く、資料を調べる、自分で考えるなど)
32	全く感じていない。現在の会社は、学部卒と同等の採用枠しかないため、修士号が評価されていない。
33	主体的に仕事を行える
34	専門知識、研究の進め方の把握、教員/OB含めた業界での繋がり
35	給与
36	会社で使っている装置を学生の期間で触れ、原理を学ぶ機会は大変貴重な経験と感じている。
37	幅広い人脈形成ができた
38	モノの考え方について学ぶことができた
39	物事の考え方や給料面など
40	給料がいい点はメリット
41	修士研究の進め方が現在の業務の進め方に活かしている。
42	論理的に思考できる能力や、思考した結果を表現できる能力が身についた
43	ストレス耐性が身についた
44	プレゼンテーション等の資料作りにおいて、特に在学中の経験が活かしている
45	研究室を通じて得た就職先だった
46	研究でPDCAを繰り返す癖を身につけたことで企業でも活躍できる人材になった。
47	研究・発表の経験で得た技術が役立っている
48	研究活動を通し、計画性、コミュニケーション力、論理的思考力などを身につけることができた。
49	実務でも文章を書く機会が多いので修士論文を書く経験はとても大切だった
50	専門分野に対する基礎と研究を行う姿勢をしっかりと身に付けることができたことがよかった。
51	学部卒より収入が上がった
52	修士論文を書き上げるまでの過程を経験したことが、仕事を余裕に進められている根拠になっている
53	研究して論文を書いた経験は有意義だったと感じます
54	会社の大先輩は本学出身です
55	技術者としての知識と論理的思考力を身につけることで、業務遂行の道筋組立が適切に行える
56	1. 多くの専門的知識を会得できた、2. 様々な難しい問題を解決する能力・感覚・気力を身に着けることができた、3. 修士研究を乗り越えたことで自分の能力に対する自信がついた
57	現在の職場であれば学部卒で十分であったが、上位管理職を目指す上では必須であると思われる。
58	研究を行ったことで計画性と主体性のメリットを分かり、仕事でも取り組んでいる
59	研究、実験スキルが身につけていること
60	今だ付き合いのある友人が多数できた
61	やりたいことができたから
62	感じていない
63	人と話す機会が多いこと
64	プレゼンについて褒められることが多い。自分自身発表が得意だとは思っていなかったが、それは学内の友人と比較した場合であり、一般的に見ると論理的でわかりやすく説明する力が身につけているのだと感じた。
65	大学院で身につけた知識が現在のキャリアに100%活かしている訳ではありませんが、知識とは別に大学院で学んだ人間力というのは企業でも大いに役立っていると感じます。
66	会社には国立大学大学院卒がほとんどであるため、同等に会話が出きる
67	課題を発見し、解決策を探索する能力や結果を理路整然と報告するための素養が身についた
68	専門性
69	プレゼン力、相手に伝わる話し方、研究の進め方等の基本的なスキルが身についたと感じました。
70	学会や発表の経験が役に立った

71	課題を解決するために自分から動く力が身につく。
72	給与面
73	職務の適性を判断できた(設計事務所は向いていないと思った)
74	研究活動の中で身についたスキルは大きく役立っていると感じる
75	大学院に入学してから得た知識が現在の業務内容に深く結びついており、役に立っている。特に研究室活動で他の人の研究を学べたり、違う分野の研究室の人達と授業でグループワークができたことで様々な分野の知識をつけれたのが良かった。
76	学会発表等の研究活動を行っていること。
77	講義でも研究でもディスカッション・発表が増えたことによって、伝える力が向上したことがメリットである。
78	プレゼン力、コミュニケーション能力等が培われた。
79	ストレス耐性がつく
80	研究生活を通しての経験は良かった。一方で、他大学院との差別化の観点では特段コメントはない
81	学部から継続して同じ環境に身を置けたことで、研究活動に集中する事ができた。また、同じ研究テーマを長期間にわたって扱う事で深掘りする事ができた。
82	感じた。メリット: 修士研究で身につけた論理的思考力、会社での昇進スピード及び給与
83	特に感じていない、強いて言うなら給料が少し良いこと
84	専門的な知識は勿論、物事を順序立てて論理的に考える力が付いたと考える。
85	専門性の高い知識

問17. 大学院時代を振り返ったときに、自分が専攻した分野以外で、勉強をしておけばよかったと思うことがありましたら、「問17」欄に自由にご記入ください。

1	教育学
2	電気に関する知識
3	英語、プログラミング
4	プログラミング
5	データ解析手法(Excelやビッグデータ解析関係)
6	エンジン、電気回路、油圧回路
7	情報系の分野(HTMLやoutsystems、Python等)
8	プログラミング、英語
9	英語
10	法律や経理的な分野
11	プログラミング系 機械系でもVBAやPythonの活用は求められている
12	制御工学
13	プログラミング
14	電気電子分野(現在電気電子分野の教員に採用されているため)
15	統計学
16	情報工学
17	プログラミング
18	理学
19	機械だけでなく電気の分野も基礎くらいはできた方が良いと思いました
20	統計学
21	プログラミングなどの技術
22	プログラミング
23	電磁気学
24	数値解析
25	電気電子
26	経済、金融など
27	英語
28	化学系全般、情報系分野、統計学、英語
29	英語
30	化学電気法規機械工学経理
31	英語
32	ICT関連技術が求められており、積極的に学んでおけば良かったと感じている。
33	経営に関する分野
34	強電・弱電・通信
35	プログラミング
36	プログラミングスキル
37	英語、プログラミング
38	半導体プロセス技術、電磁気学、熱力学、統計学
39	プログラミング

40	プログラミング関連
41	ソフト(コーディング等)
42	材料力学
43	英語、コミュニケーション能力
44	情報系
45	英語
46	英語
47	プログラミング能力
48	ネットワークアーキテクチャ
49	ディープラーニング、機械学習
50	電気系
51	デザイン、カリグラフィ。研究とは関係ないが、プレゼンテーションを作成する上で、この2つを勉強していればよかったと感じる。
52	アプリ開発など
53	英語
54	数理的神経モデルに関する知識
55	経済や会計の基礎知識, 化学の知識(化学メーカーのため)
56	英語ではなくタガログ語について知っていれば良かった
57	ビジネス日本語、ビジネス英語
58	英語、CAD、情報系
59	IT関連
60	CAD設計など
61	リーダーとしてコミュニケーション能力
62	プログラミング。4系出身だがSEになったため。
63	ITスキル、物理学
64	情報処理, IT関連
65	経済学、プログラミング
66	ITに関するスキル(AIのプログラミングなど)を身につけておけばよかったと感じています。
67	電気関係
68	英語
69	英語
70	電気関連の基礎知識
71	経済やお金の勉強
72	経営学、資格系授業
73	プログラミング
74	IT系の能力
75	IT・プログラミング
76	請求書、領収書などの事務書類についてのいろは。
77	プログラミング、ITスキル
78	プログラミング
79	どんな分野の人材でも、経営に関して学びを深める必要があったと感じた。
80	建築設備全般
81	進路希望以外の職種へのインターンシップや実務経験 パソコンアプリの実務的な使い方について
82	プログラミング
83	自分は建築コースだったか、土木分野も学習するべきだった。
84	英語、資格取得
85	プログラミング、一般教養

問18. 現在の仕事で、不足していると思われるスキルがありましたら、自由にご記入ください。

1	英会話のスキル。無くても問題はないが、可能性を広げるために。
2	建築及び廃棄物関連
3	英語
4	プログラミング能力と論理的思考力
5	ビッグデータ解析
6	情報・通信系の知識
7	データの処理能力

8	マルチタスクに対する計画遂行力
9	プログラミング、英語、計画力
10	プログラミング
11	VBA
12	電気電子分野の知識。人と対話する能力。「適当にうまくやる」能力。
13	金属工学、電気化学
14	傾聴力、理解力
15	プログラミング
16	語学力
17	英語能力
18	外国語、プログラミング
19	英語力
20	プログラミングスキル。特に通信や排他制御など。
21	数値解析スキル
22	化学の知識
23	制御工学関係
24	1つのシングルタスク(技術・理論)に対して深掘りするスキルは大学時代で取得することができました。その一方で、先述の通り同列のマルチタスクに対する処理能力、これに加え、後進の育成など(いかに本質的な技術や理念を伝えつつ、本人のモチベーションを付与・鼓舞するか)は中々、学術的でなく社会的なスキルとして個人的にも今後の課題として認識しております。 ※やはり、このような部分についても科目でなく、実務訓練等が最も相応しいか(あるいはビジネススクールの側面が強そう。詰まる所、どこまで大学側が面倒を見るかの線引きだと思います)
25	英会話、
26	電力関係の知識、情報系の知識、英会話
27	スケジュール管理
28	調整能力, 交渉能力, リーダーとしてまとめ役を果たす力
29	データ処理、統計に関する知識とスキルが不足していると感じている。
30	回路図を読む力
31	情報系の知識
32	プログラミングスキル, 実践的な英語力
33	統計、プログラミング
34	英語、プログラミング
35	文章構成能力、プレゼンテーション力
36	電気回路/電磁気/ソフト
37	英語
38	語学力が不足していると感じます。
39	英語
40	英語
41	ノイズの知識。
42	実際のものづくりの経験
43	特になし 業務上で必要な知識が不足している
44	計画性、協調性
45	コミュニケーション力
46	コミュニケーション・表現力
47	英語力
48	webアプリ開発やインフラ構築のスキル
49	英語系、スケジューリングなど
50	英語
51	データマイニングについて
52	体力(もっと運動を継続して行っべきだった)
53	Rを用いたビックデータ解析技能、C#とRust
54	発信する力。コミュニケーションを促進するイベントまたは授業あっても良いと考えます。
55	英語、情報系
56	発信力、文章構成力、分析力
57	リーダーの傾聴力
58	独学する力。
59	英語(特にコミュニケーション)
60	コミュニケーション能力
61	情報処理スキル, IT関連スキル
62	経済学、マーケティング、プログラミング

63	英語力、効率よく業務を進める能力、業務に関連する専門知識
64	機械、電気関係の知識があればよかった
65	Excelの関数、マクロ
66	英語
67	機械的知識、物理知識
68	英語のスキル
69	プログラミング、機械工学
70	英語、電気関連
71	伝える力
72	プログラミング
73	英語能力
74	自分の考えを相手に伝えるスキル
75	企画計画力
76	IT系の能力
77	効率化する能力
78	プログラミング、ITスキル
79	独立性、提案力
80	パソコンスキル
81	能動的な行動
82	専門知識
83	創造力をもつこと。良いデザインとは何か感じる力。
84	英語(ただし求められてはいない)
85	ストレス管理

問19. 実社会での経験を重ねられた今、問4の能力・資質のほかに、社会人として必要と思うもの、大学時代に身につけて良かったこと、豊橋技術科学大学の学生に学生時代に身につけて欲しいことや経験して欲しいこと等について、自由にご記入ください。

1	英会話のスキル。TOEICなどの文法理解ではなく、コミュニケーションとしての英会話スキル。
2	お金をかけてもいいから多国籍の方と会話をしてほしいです。インターンシップも企業の雰囲気を知るために活用してほしいです。私自身、在学時に海外旅行をして様々な文化に触れてよかったと思っています。
3	英語と学外活動(狭いコミュニティではなくもっと広い視野を持つ)
4	社交性を身につける
5	機械工学の基礎の4力を知っていることは重要です。学内以外の人間とかかわりを持つことも大事だと思いました。
6	社会人では複数の案件を掛け持つことが多くなるため、マルチタスクに対応できるような人材になってほしいです。
7	問題発見力、問題解決力、周囲を巻き込む力
8	実社会(前職)でというのであれば、勉強していないで仕事や人の付き合い方、酒の席でのふるまい方を早く覚えた方が良い。どの社会においても通用する能力としては、自分の考えが絶対に正しいと思いきず、謙虚に相手の意見に耳を傾けると、おのずと人間関係はうまくいく。
9	自主的・主体的に考えて、研究を進めていける能力が大切だと思います。
10	対話力
11	友達と一緒に研究して、苦難を乗り越える力
12	周囲に助けを求める力(質問など) 理由:専門的な知識を学んだからと言って実際の業務の中ではわからないことばかりでした。社会に出たら役職などはもちろんありますが、困ったときに助けを求めることが業務を進める上で不可欠です。学生のうちから研究で行き詰った際には、些細な事でも質問するように心がけたため、今でも臆せず周囲に助けを求めることができています。
13	研究活動を通じてストレス耐性がついた。大学院時代は研究に没頭した毎日だった。辛い経験が今に生きている。
14	報連相。
15	コミュニケーション能力、多角的に人や物事を見た上で判断する余裕と力
16	IT能力、英語
17	ビジネスマナー
18	①仕事は一人でやるものではないので、研究室やアルバイト等で濃い人間関係を作る。 ②あくまでも大学院は研究をする場所だと思うので、高い専門性を身につけることも大事。 ③成長し続ける力が大事。大学院では研究活動を通して壁に当たって乗り越える経験が社会に出ても成長し続ける力になると思う。
19	大学時代の中で学んだ主な部分として、1つの物事に対して真理を深掘り、理路整然と資料や論文として整理したリプレゼンテーションのための基礎能力
20	学生個人の能力を超えること(学会発表・論文執筆など)にも教員や大学の助けを借りて挑戦できるのが大学(院)の良さだと思うので、学生にはその良さを活用して経験を積んでほしい
21	挨拶を始めとした最低限のコミュニケーションがとれること 色んなことに挑戦し失敗をたくさん経験しておくこと 様々な分野に興味をもつこと 最低限のお金の知識と契約書を読む読解力を身につけておくこと 運動習慣を身につけておくこと 熱中出来るものを何でもいいので1つ見つけておくこと

22	英語の理解力、論理的な考え方
23	サークルでもアルバイトでも学業でも、大小問わずプロジェクトのリーダーやまとめ役を経験しておきたい。立場の違いや考え方の違いを踏まえながら落とし所、最適解を見つける力。
24	遊んでください、友人を作ってください 可能であれば伴侶を見つけてください
25	基本的な知識や教養は大学時代に身に付けられていたため良かったと感じているが、業務を遂行する上でコミュニケーションは欠かせず技術者であっても必要な能力になると思う。
26	チャレンジ精神: 新しいことに挑戦し、失敗してもめげない力
27	英語力 コミュニケーション能力
28	コミュニケーション能力全般
29	論理的思考力
30	相手を動かす働きかける力を伸ばしていけると、社会でも活躍できる人材になれると思う。
31	ロジカルシンキング(ライティング/スピーキング)
32	日々のスケジュール管理
33	コミュニケーションスキル
34	コミュニケーション能力と英語
35	学会発表や研究室での成果報告の経験は業務での成果報告に役立っている。
36	実際のものづくりの経験
37	視野を広げて世の中を見ること
38	自身の生活や研究スケジュール等の自己管理を行う能力
39	不労所得、税金に関する知識、生きるのに便利な公的制度
40	コミュニケーション力、ファシリテート能力、問題解決力を鍛える授業が欲しい
41	主に研究活動における人との協働やコミュニケーション能力
42	コミュニケーション能力
43	人間関係の構築など
44	クラブ、サークル活動に参加して、多くの人と共有出来る話題を用意しておくこと
45	1. 運動や規則正しい生活をして体力のある身体づくりをする。2. 何らかの専門的能力を極める(流行っているかどうかを基準に選ばないほうがよい)、3. プレゼンに慣れる
46	なんやかんやでロボコンは唯一無二の経験となりました。他の人にはお勧めできませんが
47	コミュニケーション力、プレゼン力
48	お金に関する知識
49	理系にとらわれず、幅広く学んで欲しい 周りの仲間を受け入れる心を学んでほしい
50	飲み会
51	年代の異なる人とのコミュニケーションという点で、アルバイト
52	専門知識もちろん大事ですが、企業ではたらくということは組織に属することですので、人間力がなによりも大切になります。様々なコミュニティの人間と関わり、勉強以外の知識、見聞も広げてください。
53	問題が生じたときに、何が原因なのか、どうすれば解決できるのかといった思考を日頃から持つておくこと。実際に問題を解決できなかったとしても、考えをまとめたり他の人に相談したりするときに役立つと思います。
54	世の中にはたくさんの方がいて、皆考え方がそれぞれ違うこと。であったことのないような人がたくさんいるということ。諦めるといふ考え。自身で遂行する能力。
55	長期間の休みは社会人になると同等の期間取得することはほぼ不可能なので、そういった資産を無駄にせず様々な経験をしてほしい。それは趣味でもインターンでもよく、いずれにせよ社会人になってからの精神的・能力的な財産になる。
56	目的の結果が出るまで繰り返し努力する姿勢
57	大学生活は誘惑が多いですが、学業を主軸に据えていきたいと思っています。就職活動において、企業日録で真字の学生に求めることは、いかに高い専門性を有しており、それを活用・応用する能力があるか、だと思います。就職活動に時間を取りたい気持ちはわかりますが、能力があれば就職は容易いです
58	コミュニケーション能力
59	製造現場とのコミュニケーション能力
60	英語力
61	社会人マナー、ルール
62	積極性
63	資格、新しいことに取り組む上でのマインドセット
64	人とのうまい付き合い方。
65	知的好奇心に基づいた勉強、研究
66	人間関係を広めてください。
67	プレゼン力の向上は身につけてよかったと感じる。身につけてほしいことはケアレスミスに気をつけることを意識してほしい。どの業種でもwordとExcel、メールは使用することになると思うが、誤字、脱字、計算ミス、見間違いによる勘違いなどはよく起こるため、普段のレポート、試験、プレゼン資料などで簡単なミスがないか意識するとよいと思う。
68	極力規則正しい生活を送るよう努力すること。

69	実務訓練で人生初海外にチャレンジ出来たことは、貴重な経験であったと感じている。今思えば大学は様々なことにチャレンジできる場であったと感じており、常に積極性を大切に視野を広げて行動して欲しいと思う。
70	コミュニケーション能力
71	専門分野の基礎知識やパソコン基本アプリの基礎知識、応用
72	能動的な行動、挑戦してみることに
73	時間厳守
74	就職後はCADで製図を行うため、BIM/CIM含めそういった知識をもっと身に付けておくべきだったと感じると同時に、逆にアナログな手法(スケッチとか)の有用性も感じており、学生時代にもっと練習しておけば良かったと自分は思っている。
75	コミュニケーション能力

問20. 教育を含め、豊橋技術科学大学全般にわたってご意見等ございましたら、自由にご記入ください。

1	私は女性ですが、在学時は指導教員や研究室のメンバーから女性嫌悪や差別を感じず、のびのびと研究ができました。ありがとうございます。しかし、現在、機械メーカーの技術職に就いており、マイノリティへの差別や嫌悪を感じています。是非、豊橋技科大にLGBTや女性差別に関するカリキュラムを入れていただき、少しでも上記の問題を意識する機会を作っていただきたいです。専門的な知識や技術を身につけるだけでなく、他者を考える・思いやることのできる学生が多く卒業・修了してくれることを願っています。
2	寮の衛生環境が悪かったこと、食堂がイマイチだったことが不満点でした。
3	研究室においてパワハラや人格否定するのは良くないと思います。
4	実務訓練制度は非常に有益だと思いますので、ぜひ続けていただきたいです。また、コロナ禍で下火となりましたが、社会人のOBたちが大学訪問を、また活発に行えるようになっていくことを期待しています。
5	就活に関しては、もっと大学側から強制的に参加を促すようにしたらいいと感じました。
6	アカデミックなところで就職するのであれば、良い学生生活だったと思います。
7	多様性を重視する社会になっていますが、是非、豊橋技科大にもそうあってほしいと願います。女性比率が低いのは、高専の問題もあり、なかなか難しいかもしれませんが、頑張ってください。
8	社会人になってから、博士後期課程に進学する方法や体験談などがあつたら聞いてみたいです。
9	ありがとうございました
10	他の大学生よりも専門性に特化した教育がなされていると思う一方で、学生の向上心が他の大学よりも低かったと社会に出て分かりました。社会に出て役に立つ、より実践に近い内容の教育カリキュラムの充実を期待します。
11	良い大学だと思うので、引き続きがんばってほしい
12	2系の前期の教科の多さとレポートの多さについてもう少しバランス取ってほしい
13	大学は教わるどころではなく自らで学ぶところであるのはもっともだが、教職員の中には学生に寄り添う姿勢が無い方もいた。教員が多忙で相談しにくいことは多々あった。
14	男女バランスを是正してください 学生を研究室で使い倒すことをやめてください 研究者ではなく技術者として使い倒す方針をやめてください 就活での話し方や文章の書き方をキチンと学習させてください
15	必修科目を減らして選択科目の選択肢を増やしてほしい。
16	多くの学び、成長の機会がありました。感謝しております。
17	ここで過ごした3年間(研究生と修士)楽しかった
18	精文館の閉鎖はだいぶ痛い。食堂は閉鎖しても問題ないと思われる。学内コンビニの営業時間は拡充してほしい。
19	年齢が若い先生を増やせば、学生も相談しやすくなると思います。
20	就活支援についてはもっと力を入れてほしい。
21	教員の待遇を改善すべき。
22	貴学で得た知識・経験を活かし、会社に貢献しています。貴学の修了生であることを誇りに思っております。
23	このアンケートをきっかけに所属していた研究室の修了生の近況が聞けて嬉しかったです。ありがとうございます。
24	御学を卒業してよかったです。